



平成会 和田喜治 議員

### 成東中学校廃校問題について

**問** 成東中学校の廃校について、市長の取り組み姿勢と、開発が困難な理由を伺います。

**答** 都市整備課長 区画整理事業として平成6年度から検討し、平成12年度には準備委員会が設立されましたが、平成22年度に事業収支を試算した際、事業費などに充てる地権者の土地供出割合が9割となり、実現性が非常に低いという結果に至りました。

**問** 4月に行われた市長選挙において、両候補者は成東中学校を残すという考えを市民に訴えました。成東地区、大富地区の方々は、少しは安堵したと思われず。私もこれまでの苦労が実った思いでした。私はこの2年間、前市長、教育長、教育委員に対し、成東中学校廃校の見直しを訴えてきましたが、このまま、前市長を支えてきた方々が残るといことは、前市長の政策を引き継ぐことになりません。そこで、人事刷新をする考えはあるか伺います。

**答** 市長 教育長、教育委員は、議会の同意に基づき任命され職務に当たっており、任期も定められています。行政には、継続性が必要な部分もあり、まずは、教育委員の皆さんの考えを確認していききたいと思えます。

### 海外スポーツチームの招致について

**問** 市では8月に本県で開催される女子ソフトボールワールドカップに出場するイギリス代表チームの事前練習地として、運動公園の改修・整備等の費用、400万円を補正予算として計上しましたが、今まで、文教厚生常任委員会、全員協議会などでの説明はありませんでした。この受け入れに至るまでの経緯と、今まで説明がなかった理由を伺います。

**答** 教育部長 平成28年2月に情報交換会があり、その後キャンプ地の受け入れに市として手を挙げました。その結果、4月に、イギリスソフトボール協会から事前キャンプの申し出がありました。実現するのかわからない状況であり、議会への報告が遅くなりました。

### 少子化対策について

**問** 白幡市営住宅が老朽化し、建て替えが必要となります。白幡スポーツ広場に、新婚者向けの市営住宅を建設することで、子どもが生まれ、人口増加につながると考えるがどうか。

**答** 市長 建て替え、改修を踏まえて検討していきます。白幡スポーツ広場は、建て替え候補地の1つとして、引き続き検討していきます。

**問** 市の結婚相談事業は、合併時には50万円の予算でしたが、昨年は37万円まで減額されました。少子化対策事業につながる結婚相談事業に、一度、思い切った予算をつけ、市長も一緒になって取り組んではどうか。

**答** 市長 少子化対策につながる結婚相談事業は、人と人との仲を取り

### 成東駅裏口の開発について

**問** 成東駅裏口の開発について、市長の取り組み姿勢と、開発が困難な理由を伺います。

**答** 都市整備課長 区画整理事業として平成6年度から検討し、平成12年度には準備委員会が設立されましたが、平成22年度に事業収支を試算した際、事業費などに充てる地権者の土地供出割合が9割となり、実現性が非常に低いという結果に至りました。

**問** 昨年の12月議会で、開発が難しいのであれば駅裏に道路を1本通してはどうかと提案しました。この件については2回質問していますが、担当者から市長へ説明はありましたか。

**答** 市長 以前、和田議員から質問の中で、道路を1本通すことで、駅北側の開発につながるという提案があったことについて説明を受けています。また、駅北側の開発につながる1つの方策と捉えて、進めていきたいと思えます。



### 結婚相談事業について

**問** 市の結婚相談事業は、合併時には50万円の予算でしたが、昨年は37万円まで減額されました。少子化対策事業につながる結婚相談事業に、一度、思い切った予算をつけ、市長も一緒に

**答** 市長 少子化対策につながる結婚相談事業は、人と人との仲を取り



白幡スポーツ広場